

初夏の五月山公園へ

第121回くわん会 2006/6/6



<行程>

阪急池田駅 ⇒ 駅前公園集合 ⇒ 五月山公園前 ⇒ 五月山緑地都市緑化植物園（緑のセンター） ⇒ ひょうたん島コース ⇒ 自然のふれあいコース ⇒ 五月山ドライブウェイ ⇒ ミニ吊橋 ⇒ 駐車場横展望台広場（昼食） ⇒ 五月平展望台 ⇒ 五月丘配水池 ⇒ 五月山体育館 ⇒ 池田城跡公園 ⇒ 池田文庫 ⇒ 駅前公園（解散）

<距離> 約8km <参加者数> 101名

まもなく入梅との気象情報の中、今日はつかの間の真夏日。朝からじりじりと照りつける太陽の中、初夏の五月山公園を歩いた。枚方から1時間の集場所規制を外した初めてのコース、阪急宝塚線池田駅までは、乗り継ぎで枚方から約90分かった。

池田駅を降りて連絡通路を右に、ステーションビルの中を抜けて国道176号線の陸橋を渡ったところの駅前公園が今日の集場所、ここに今日も101名の会員が集まった。広い会場で気持ちの良いミーティングを行い、出発。池田駅から五月山公園に向かう池田箕面線（さくら通り）の歩道を北に進む。レンガ仕立ての歩道には、さくら通りのロゴが埋め込まれている。ハローワークを過ぎ、緩やかだが、けっこうきつい歩道をのぼり詰めると、五月山公園前の交差点にぶつかり、右にカーブしている。すぐ右手に立派な五月山体育館を見ながら公園の緑沿いに進むと、左手に陽春寺をみて、緩やかな舗装道路を左に上がってゆくと都市緑化植物園（緑のセンター）に着いた。

五月山緑地都市緑化植物園は、五月山公園内にあり、ツツジ・サツキ園、アジサイ園、芳香樹園、実のなる樹園で構成、温室や花壇もあり、「緑のセンター」では講習会も実施している。ただ火曜日は休館日で、温室の外から見事な蘭を垣間見るだけだった。ここで水分補給の小休止、トイレをお借りする。

植物園裏の階段（ひょうたん島コース）をジグザグに一気に登りにかかる。周りは緑が一気に濃くなり、絶好の森林浴を楽しめる。途中のややなだらかになったところで、小休止、この鞍部には、名物の真っ赤な花をつける石楠花の群落があるが、すでに時期が過ぎほとんど花が落ち、わずかに一、二輪を残すだけだった。さらに進むと、自然のふれあいコースの標識があり、五月山ドライブウェイの側道に行く、右手にミニ吊橋などがある谷を越え上がると、ドライブウェイ駐車場横の展望台広場に出る。ここで昼食タイムとなった。

昼食後少し下ると五月平展望台に出る。南に開けた展望台があり絶好の立地だが、あいにく梅雨直前の不安定な気流が災いしてか、霞がひどくて伊丹の大阪国際空港が、広場のように、やっと確認できる程度の眺望だった。ここからはだらだらと続く下り階段で、膝に負担がかかる歩きにくいコース、最後の急な石段を降りきった所に、五月丘配水池と山の家があり、最後の休憩を取る。植物園の下の道を下ると池田箕面線に出る。

道路を横断して五月山体育館前を過ぎ、小さい谷を渡ったところに城山勤労者センターがあり、すぐ横の小径に白壁と東門が見える。ここに池田城跡公園が2004年に開設されている。





池田城は室町時代から戦国時代にかけて、池田市域一帯を支配していた地方豪族・池田氏の居城。火曜日はここも休園で、内部には池泉回遊式の日本庭園と「櫓風展望舎」などがありデートコースになっているということだ。

さらに下って行くと右手に「池田文庫」がある。池田文庫は、宝塚文芸図書館（阪急東宝グループの創設者 小林一三が開設）の蔵書を移し、昭和24年池田の街に開館された。

演劇専門の図書館で、映画・演劇書はもちろん、役者絵・絵看板・番付などの歌舞伎関係資料を精力的に収集、上方役者絵の所蔵は世界一で、タカラヅカの宝庫としても、質、量ともに他に追随を許さないものとなっている。池田小学校の横を抜けると、池田市役所がありその前が出発地点の駅前公園で、ここで無事解散した。梅雨直前の好天を利用し、北摂の緑濃い五月山公園を歩いて、気持ちよい汗を流した一日になった。

取材－清水次雄、富田朝己



阪急池田駅から連絡通路で駅ビルを抜け、国道176を渡った所に広い駅前公園がある、ここに集合して寛ぐ「くらわん会」美女たち



池田箕面線(愛称さくら通り)を行く



池田箕面線歩道に埋め込まれたさくら通りのロゴ



さくら通りはだらだら登りで結構汗をかく、五月山公園前に行く



池田箕面線を五月山公園の緑に沿って五月山体育館横に行く



都市緑化植物園(緑のセンター)に到着、休刊日だったがトイレだけ借用する



五月山緑地都市緑化植物園(緑のセンター)の玄関前フロアで水分補給の小休止



登り口の老木の下で小休止



ジグザグに一気に登り、途中のややなだらかになったところで、小休止



石楠花の群落がある鞍部で小休止



展望広場から東に景観が広がるが、ガスがかかってよく見えない



そんなに展望は良くないが、開けた広場で明るくて気持ちがいい

	<p>昼食後、下りの注意を受けて再出発</p>		<p>緩やかなくだりを五月平展望台へ向かう</p>
	<p>五月平展望台は南に開けているが、霞がひどくて伊丹の大阪国際空港が、広場のように、やっと確認できる程度の眺望</p>		<p>最後の急な石段を降りきった所に、五月丘配水池と山の家がある</p>
	<p>案内板で今日のコースを振り返りながら、最後の休憩を取る</p>		<p>植物園の下の道を下ると池田箕面線に出る</p>
	<p>花の植え込みで飾られた小さい橋を渡る</p>		<p>池田文庫は、宝塚文芸図書館の蔵書を移し、昭和24年池田の街に開館された演劇専門の図書館</p>

